

市長  
櫻田 宏



市議会議長  
清野 一榮



あけましておめでとうございます。  
市民の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への影響が長引く中、8月上旬の記録的な大雨により、一部の住宅やりんご園地が浸水するなど、大きな被害が発生いたしました。

このような中ではありましたが、市では引き続き感染防止対策を徹底して開催した弘前さくらまつりや3年ぶりの開催となった弘前ねぶたまつり、さらに弘前ねぶた300年祭特別運行など、まつりやイベントを実施したほか、さまざまな業種に対する事業活動の支援など、地域経済の活性化にも取り組んだところであります。

現在、策定中の弘前市総合計画後期基本計画において「ひとの健康」、「まちの健康」、「みらいの健康」の3つを重点的に取り組むリーディングプロジェクトとして掲げ、市民の健康増進と中心市街地の賑わい創出につながる事業を展開するとともに、健康医療関連産業の誘致、高校生までの子ども医療費の完全無償化など「健康都市弘前」の実現に向けて各種施策を展開してまいります。

先人たちが築き上げてきた弘前を新しい時代を担う子どもたちにしっかりと引き継いでいくために、「市民生活を第一に」という基本的な考えのもと、市民の皆様の声聞き、ともに歩みを進めながら、市民の皆様が安心して住み続けられる弘前づくりにまい進してまいりますので、皆様には、更なるご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

# 謹賀新年 年頭のご挨拶

新年おめでとうございます。  
市民の皆様方にはお健やかに初春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素は市議会に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年8月の津軽地方を中心とした大雨では、当市においても大きな被害を受けました。被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

また、復旧作業にご協力をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

このような中、市議会といたしましても、津軽圏域の14市町村議会が一体となり、県知事に対し、被災農業者への支援や公共土木施設に係る災害復旧及び防災対策への支援など、一刻も早い復旧が可能となるよう要望を行うなど広域的な連携にも取り組みました。

新しい年も、弘前市をより住みやすい街にしていくために、市民の負託を受けた市議会として、皆様の思いや声をよくお聞きし、地域の課題解決に向け、しっかりとその使命を果たしてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、いまだに予断を許さないものの、感染対策を講じながら、以前の日常を取り戻す動きが進んできていると感じております。

今年は卯年です。本年こそは、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻し、うさぎのように元気よく飛躍する年ができるよう、議員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、この一年、皆様にとりまして健康で幸せ多い年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



## 特集

# 話し合っておきたい「大切なこと」

皆さんは認知症や突然の事故などで自分の意思を伝えられなくなったときの備えはしていますか？希望する医療・介護のこと、持っている銀行口座や加入している保険のこと、土地・家のこと…家族で共有し、話し合っておきたい内容は多岐にわたります。

このような話は、「親はまだ元気だし、こんな話をしたら傷つけてしまうかも」、「改めて真剣な話をするのは気恥ずかしい」などの気持ちから、大事な話だとわかっていても、後回しになってしまいがち。家族や親戚と顔を合わせることが増えるお正月、ちょっと真剣な話をしませんか。

**家族のお悩み あれこれ**

同じようなお悩み、ありませんか？

- 「終活」に興味はあるけれど…何から始めたらいいの？やる事が多くて大変そう…
- 自分がいなくなったあとのことをなんとなく考えてはいるけれど…子どもたちと話したことはないな。
- 親の口座や保険がわからなくて、亡くなった後の手続きに苦労したな…
- 「まだ元気だからそういう話はまた今度」と言っていたら親が突然入院して、しっかり話し合えなかった…
- 親がいなくなったら空き家になる実家…売ったり貸したりできるのかな？
- 必要最低限の口座や保険、まとめた方がいいかも…
- 実家で飼っているペット、誰が引き取るか相談しなきゃ…

## そんな皆さんに「これからノート」と「空き家・空き地バンク」

今号では、理想のエンディングを迎えるために今何をすべきなのかを整理する手助けとして、市が発行する「これからノート（エンディングノート）」を紹介します。また、土地や建物の処分を考えるヒントとして、「弘前圏域空き家・空き地バンク」も併せて紹介します。「空き家・空き地バンク」は、市が課題として力を入れて取り組んでいる空き家問題の解決のためにも、ぜひご利用ください。